

## 白ねぎ出荷調整の自動化に伴う営農拡大実施プラン

事業実施主体名	大場 繁	住 所	大山町
プラン認定日	平成16年8月26日	プラン期間	平成16年～18年

### 1 プラン内容

#### (1) 概要

白ネギの出荷調整作業の省力化機械により、規模拡大と経営の安定を図る。

#### (2) 取り組みポイント

- 高性能機械を導入し作業効率を向上させ、適期管理を行い、生産性の向上と労働力の削減、安定出荷と利益向上を目指す。
- 作業効率を向上させることで、白ねぎ、ブロッコリーの栽培面積を拡大することが可能となり、増加した作業に対応するためパート雇用の拡大につなげていく。
- 耕作面積の拡大により休耕農地を活用する。

#### (3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H16	ベストロボ（白ねぎ根・葉切り機）1台	1,810,000	603,000	302,000
合 計		1,810,000	603,000	302,000

### 2 プラン実施状況

#### (1) 労働力、経営内容

	認 定 時 (H15)	現 状 (H24)
労働力（雇用）	2人	9人（7人）
経営内容・規模	白ねぎ 50a ブロッコリー 250a	白ねぎ 200a ブロッコリー 300a

(2) 成果

○栽培面積（a）

	H16	H19	H24
ブロッコリー	200	300	300
白ねぎ	80	100	200

※H19 目標 ブロッコリー300a、白ねぎ 100a

○ベストロボ利用状況

年度	利用実績	処理量 (2人体制)	備考
H16	30a	20cs/時間	—
H24	200a	30cs/時間	150cs/日

※処理目標 20cs/2人/時間



ベストロボ導入後の作業場

○規模拡大に向けた経営改善

平成21年から、夏季の栽培に灌水技術を導入し、収量向上にむけた取り組みを行ってきた。これによって、年間を通じ安定したねぎの収穫が可能となり、毎年白ねぎの栽培面積を拡大し、常時雇用を7名まで増やした。



夏季の白ねぎ栽培への灌水技術の導入

○更なる経営発展方向

農繁期には白ねぎの収穫作業を中心に農福連携を活用し、白ねぎとブロッコリーの周年栽培体系にむけた体制を試行されている。

今後、農福連携を活用した体制を構築し、更なる規模拡大に取り組み、所得向上を目指していく。

[西部総合事務所農林局]